

2022年5月24日(火) 18:30~20:00

Zoomによる遠隔会議

出席者：16名(理事13名(委任1名含む)、監事1名、選挙管理員2名)

久門、千足、飯島、神田、佐々木、佐野、蓬郷、坂、藤本、淵、松本、矢野
寺澤(監事)

委任状：國枝

平野(選挙管理委員)、阿保(選挙管理委員)

欠席者：3名(理事2名、監事1名)

海野、武田、菊地(監事)、

書記：蓬郷

議事録署名人：千足、藤本

定刻になり、Web会議システムを用いて、理事会が開催された。

久門会長より開会の挨拶があった。

定款26条により、議長として会長(久門)が承認された。

定款27条をもとに定足数の確認が行われ(理事15名中委任0名を含め10名参加、2/3以上の参加)、議事が成立することが確認された。

議事録署名人は千足常務理事、藤本理事が承認された。

Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることが確認されて、議案の審議に入った。

議題

<報告事項>

1. 選挙管理委員会より：代議員・理事・監事選挙進捗

- 平野委員長より、代議員選挙について 被選挙人81名、有権者110名 であり、代議員開票予定は6/12であることが報告された。
- 代議員決定後、代議員互選による理事・監事選挙期間は6/27-7/8で予定されていることが報告された。

<協議事項>

1. 学会大会企画委員会：第11回大会(資料1)

- 資料のとおり5/13に開催された拡大企画委員会の報告がなされ、コロナの状況に合わせてシンポジウムの調整を進めていくことが確認された。歴代会長による鼎談は対面での開催が決定してから企画委員会と内容を詰めていくこととなった。
- 神田理事よりコロナ禍で苦労した海での活動の報告も聞いてみたいとの意見が出された。
- 千足理事より、SDG'sのテーマが大きいことからテーマを絞ることが難しい場合は、これまでの10年間を振りかえった歴代会長の鼎談にボリュームを持たせ、それを元にこれからの10年に向けた内容にしても良いのではないかと意見が出された。
- 佐々木理事よりSDG'sに取り組んでいる団体から環境教育に関する専門家を招聘する案も出された。
- 開催方法によって影響を受ける内容であるため、今回の意見を受けて企画委員会にて再度検

討することが確認された。

2. 賞選考委員会：賞選考について

- 選委員長より、優秀発表賞およびポスター発表賞については学会大会開催方式に関わらず実施することが報告された。
- 論文大賞は該当者なしであることが報告された。
- 優秀論文賞は対象となる論文は7本（原著論文は3本）であることが報告され、賞選考委員会では対象論文が少ないことから今年度は選考を見送る案が提案され、承認された。HPにも掲載することが確認された。

3. 編集委員会：投稿論文責任者の規定について（継続審議）

- 様々なパターンが考えられることから、運用として明記はせず（現行のまま）、投稿者からの問い合わせがあった場合は都度理事会等において検討していくことが確認された。

4. その他

- 藤本実行委員長より、東京海洋大学の学会会場（白鷹館）貸し出しは可能性があり、懇親会会場となる食堂の貸し出しは難しい可能性であることが報告された。
- 対面開催を前提として、東京海洋大学での開催が難しい場合の別会場も考えておく必要があるとの意見が出された。

次回理事会予定：2022年6月下旬～7月中旬

以上

議長 久門 明人

議事録署名人 千足耕一（原本に自署）

議事録署名人 藤本浩一（原本に自署）